



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保田 寿治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長

(氏名) 裕 光司

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,448	22.4	225	—	251	—	176	—
27年3月期第2四半期	2,816	△9.2	△129	—	△105	—	△71	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 179百万円 (532.4%) 27年3月期第2四半期 28百万円 (△83.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	24.43	24.26
27年3月期第2四半期	△9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,237	11,322	84.7
27年3月期	13,108	11,199	84.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 11,206百万円 27年3月期 11,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	20.5	430	—	460	590.4	300	—	41.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	9,205,249 株	27年3月期	9,205,249 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,962,675 株	27年3月期	1,999,171 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,222,084 株	27年3月期2Q	7,247,662 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合による会計基準」（企業会計第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益又は四半期純損失」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速を背景に世界経済の先行きに不透明感が広がる中、企業業績の改善を背景として緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、鉄鋼業及び化学工業などの設備投資に向けた動きも業績改善に伴い徐々に広がりを見せ始めました。

このような情勢の下、当社はいかなる環境においても成長できる経営を目指し、付加価値の高い製品、サービスの提供を強化するとともに全社的なコスト削減に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高3,448百万円（前年同期比122.4%）、営業利益225百万円（前年同期は営業損失129百万円）、経常利益251百万円（前年同期は経常損失105百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は176百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失71百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります国内鉄鋼メーカーは、戦略的観点から海外新規設備投資に注力する一方で、国内設備に関しては老朽設備の修理・更新や生産性改善を目的とした投資を積極的に進めました。また、海外鉄鋼メーカーは、新興国を中心とした高級鋼材メーカーで新規設備投資に向けた動きがありました。このような状況の下、当社グループは、国内鉄鋼メーカーに対しては、老朽設備の修理・更新、部品販売といったメンテナンス需要の取り込みに注力するとともに、鉄鋼製品の品質と生産効率向上につながる新製品群の積極提案に努めました。また、海外鉄鋼メーカーに対しては、国内での長年にわたる実績を高級鋼材メーカーに向けてアピールすることで新規顧客の開拓を進めました。

その結果、当事業の売上高は1,115百万円（前年同期比107.7%）、セグメント利益は236百万円（前年同期比214.3%）となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、スマートフォンやタブレット端末向け電子部材の生産設備を中心に設備投資に向けた動きが徐々に表れてきました。もう一方の主要取引先であります印刷業界は、商業印刷市場が引き続き厳しい状況で推移しました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界並びに印刷業界の中でも需要の安定した包装資材や特殊印刷市場に向けて耳端位置制御装置や張力制御装置を中心とした営業活動を展開しました。

その結果、当事業の売上高は1,451百万円（前年同期比113.0%）、セグメント利益は152百万円（前年同期比275.2%）となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要製品であります無地検査装置は、多様な品質検査ニーズへの対応及び対象市場の拡大を狙い製品ラインナップを拡充した結果、スマートフォンやタブレット端末向けを始めとした電子部材の堅調な需要を背景に前年同期の売上高を上回りました。

もう一つの主要製品であります選果装置は、老朽設備の更新を求める顧客からの受注を着実に捉えた結果、農業関連予算の執行が進まず低調であった前年同期の売上高を大幅に上回りました。

その結果、当事業の売上高は871百万円（前年同期比180.6%）、セグメント利益は103百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて129百万円増加し13,237百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少283百万円があったものの、商品及び製品の増加153百万円、仕掛品の増加154百万円、現金及び預金の増加78百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて6百万円増加し1,914百万円となりました。これは主に長期借入金の減少75百万円、その他流動負債の減少55百万円、未払消費税等の減少41百万円があったものの、未払法人税等の増加87百万円、支払手形及び買掛金の増加61百万円、未払費用の増加41百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて122百万円増加し、11,322百万円となりました。これは主に時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少34百万円があったものの、利益剰余金が配当により73百万円減少したが親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円により101百万円増加したこと及び自己株式の売却による増加20百万円があった事によります。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により291百万円増加し、投資活動により69百万円、財務活動により153百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は前連結会計年度末と比べて76百万円増加し、4,151百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は291百万円(前年同期比281百万円の増加)となりました。これは主なフローアウトに棚卸資産の増加379百万円、未払消費税等の減少104百万円などがあったものの、主なフローインとして売上債権の減少287百万円、税金等調整前四半期純利益251百万円、減価償却費95百万円、仕入債務の増加60百万円、未払費用の増加41百万円、貸倒引当金の増加21百万円などがあった事によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は69百万円(前年同期比47百万円の増加)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入187百万円、貸付金の回収による収入14百万円、投資有価証券の売却による収入13百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出187百万円、投資有価証券の取得による支出61百万円、固定資産の取得による支出51百万円などがあった事によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は153百万円(前年同期比132百万円の減少)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出75百万円、配当金の支払73百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間までの業績は「当四半期に関する定性的情報」に記載のように、経済環境としては緩やかな回復基調にあり、当社取引先においても設備投資に向けた動きが徐々に広がりを見せ始めた事などから、当初予想に比べ増益となりました。

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの増益要因が以降においても継続すると思われるものの、景気の先行きに不透明な要因が存在するため、平成27年5月18日に公表した前回予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,230,846	4,309,738
受取手形及び売掛金	2,719,829	2,436,489
有価証券	31,306	31,312
商品及び製品	968,584	1,122,456
仕掛品	453,768	608,192
原材料及び貯蔵品	455,516	532,735
繰延税金資産	239,348	244,156
その他	162,560	224,888
貸倒引当金	△26,616	△48,637
流動資産合計	9,235,144	9,461,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	379,689	1,415,669
機械装置及び運搬具(純額)	95,259	82,667
工具、器具及び備品(純額)	66,210	63,968
土地	644,942	644,942
建設仮勘定	1,072,569	-
有形固定資産合計	2,258,671	2,207,248
無形固定資産		
リース資産	101,459	84,176
その他	16,914	18,798
無形固定資産合計	118,374	102,974
投資その他の資産		
投資有価証券	1,053,570	1,050,183
長期貸付金	189,752	176,346
破産更生債権等	18,704	18,704
退職給付に係る資産	98,091	102,715
その他	172,460	154,285
貸倒引当金	△36,492	△36,460
投資その他の資産合計	1,496,088	1,465,775
固定資産合計	3,873,133	3,775,999
資産合計	13,108,278	13,237,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,901	378,740
1年内返済予定の長期借入金	151,988	151,988
リース債務	34,265	33,284
未払費用	308,652	350,615
未払法人税等	5,342	93,142
未払消費税等	61,856	19,921
工事損失引当金	61,060	78,456
その他	263,516	208,213
流動負債合計	1,203,582	1,314,363
固定負債		
長期借入金	508,014	432,020
リース債務	67,175	51,859
役員退職慰労引当金	17,738	18,272
退職給付に係る負債	27,396	28,524
繰延税金負債	84,386	69,460
固定負債合計	704,710	600,135
負債合計	1,908,293	1,914,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	5,055,958	5,157,562
自己株式	△1,326,655	△1,306,013
株主資本合計	10,926,302	11,048,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,620	74,324
繰延ヘッジ損益	△3,092	-
為替換算調整勘定	119,965	138,810
退職給付に係る調整累計額	△66,236	△54,933
その他の包括利益累計額合計	159,257	158,201
新株予約権	30,238	28,189
非支配株主持分	84,186	87,892
純資産合計	11,199,984	11,322,831
負債純資産合計	13,108,278	13,237,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,816,204	3,448,263
売上原価	1,937,236	2,202,633
売上総利益	878,967	1,245,629
販売費及び一般管理費	1,008,244	1,020,624
営業利益又は営業損失(△)	△129,276	225,005
営業外収益		
受取利息	9,797	6,558
受取配当金	9,362	10,278
補助金収入	3,466	14,000
その他	8,540	15,429
営業外収益合計	31,166	46,266
営業外費用		
支払利息	1,006	2,739
固定資産圧縮損	3,466	14,000
その他	2,838	3,351
営業外費用合計	7,310	20,090
経常利益又は経常損失(△)	△105,421	251,180
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105,421	251,180
法人税等	△34,546	72,581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,874	178,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	264	2,129
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△71,139	176,470

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,874	178,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,256	△34,295
繰延ヘッジ損益	-	3,092
為替換算調整勘定	△23,678	20,421
退職給付に係る調整額	74,619	11,303
その他の包括利益合計	99,198	521
四半期包括利益	28,323	179,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,081	175,414
非支配株主に係る四半期包括利益	242	3,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105,421	251,180
減価償却費	73,094	95,080
長期前払費用償却額	4,162	4,056
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,192	21,948
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△30,887	17,396
退職給付に係る資産負債の増減額	14,021	9,338
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	462	534
受取利息及び受取配当金	△19,159	△16,837
支払利息	1,006	2,739
為替差損益(△は益)	621	380
投資有価証券売却損益(△は益)	166	△218
有形及び無形固定資産除却損	49	366
売上債権の増減額(△は増加)	262,498	287,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,413	△379,933
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△43,542	△5,442
仕入債務の増減額(△は減少)	28,791	60,461
未払費用の増減額(△は減少)	△30,520	41,962
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,685	△104,626
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,852	△14,566
その他	7,611	5,411
小計	24,515	277,112
利息及び配当金の受取額	20,885	16,868
利息の支払額	△1,006	△2,739
法人税等の支払額	△33,921	△12,889
法人税等の還付額	25	13,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,498	291,988
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△157,571	△187,595
定期預金の払戻による収入	224,156	187,584
固定資産の取得による支出	△147,760	△51,022
投資有価証券の取得による支出	△26,070	△61,023
投資有価証券の売却による収入	71,052	13,877
貸付金の回収による収入	13,148	14,386
その他の支出	△208	△1,599
その他の収入	1,162	15,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,091	△69,446

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,000	△75,994
自己株式の売却による収入	11,610	20,716
自己株式の取得による支出	△189,141	△75
配当金の支払額	△76,549	△73,542
その他	△15,896	△24,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285,977	△153,727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,089	8,072
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△309,660	76,887
現金及び現金同等物の期首残高	4,643,805	4,074,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,334,144	4,151,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,035,195	1,284,761	482,420	2,802,376	13,828	2,816,204	-	2,816,204
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,035,195	1,284,761	482,420	2,802,376	13,828	2,816,204	-	2,816,204
セグメント利益 又は損失(△)	110,601	55,528	△24,927	141,202	△524	140,678	△269,954	△129,276

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△269,954千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,115,217	1,451,170	871,488	3,437,875	10,388	3,448,263	-	3,448,263
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,115,217	1,451,170	871,488	3,437,875	10,388	3,448,263	-	3,448,263
セグメント利益	236,998	152,792	103,852	493,642	338	493,980	△268,975	225,005

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△268,975千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。